



fakfaaid badakand aadafatb bada aatpaab badar batand  
フアクファアイド(花名)は基本であるが幾らか大きな種になる。悪く幾らかが無くなるだけであるが、土地によっては豊かになるが。(一行目はいつもの枕詞)

nadafaadar aab bat qaadar aadarb qtdardaum aab sand fadaumsb  
長期でない農地には全て悪くて小さな農地が幾らか残された。  
狭い農地や家が全ての国土で辛い家の国だった。

aadafaadaum sand fadaum sdand sand aadaqtdar saum aafdafab  
幾らか長期の家の国土は遠い家で汗をかいた国土だった。  
幾らか統治の農地は、指導者が合流した大きな人だった。

dafaatb sand aadar aatqab nadafaadas sand  
長期の国土は所有農地だったが地震があり、長期間十分の無い国土になった。

said badafb aaqdaum bfdar aatdatasb  
長老は争いに従い、活発な家を新しい農地し家を追加して国とした。

nadaqttdar aadaqdaum aadaqtdasb sairb  
統治されていない農地は幾らかの自立家で、  
幾らか統治して成長し、日の差す人だった。

aadaqaab badaqaada faada fada kdak  
他の小さな人は自立的になるに従い小さくなり、良さが少なくなり、  
終いには(農地が)木になった。

dabbab aatdafdaum padaand fatb  
小さな人の勢力は豊かな家を追加したが、障害があり壁にあたった。

nadafaadar aadar battb aatdaumkdak  
長期ではない農地の幾らかの農地は悪い国で、家を加えて後に強くした。

bada batdaumsb dafaatdar sand  
悪いバットダウム国は長期ではない農地の国土で、

kdaum aadaqaattb sand qaadasb  
後に家は幾らか自立して国を加え国土は少し成長した。